第19号
平成18年7月

生涯学習の窓

富山大学生涯学習教育研究センターニュース

1.個性的な公開講座が続々

昨年10月に富山県内の三国立大学が統合し、大学開放の事業も多彩な展開が期待されるところです。各部局より選出の公開講座専門委員会の先生方のご協力を得て、三キャンパスあわせて前期44講座、後期は13講座が企画されました。

既に４月13日より今年度最初の公開講座がスタートしています。総合大学にふさわしく、個性的な公開講座が開講されています。その一部についてご紹介いたします。

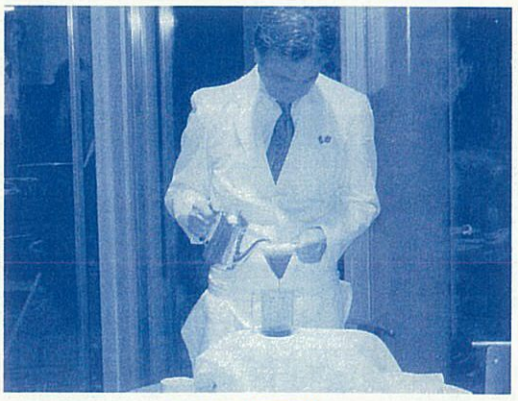
○家庭菜園を楽しもう＠人間発達科学部農場実習地



家庭菜園講座風景

「富山大学に農場があるの？」と思われた方も多いかも知れません。今、富山市花園町に広がる農場では受講者の植えた苗が初夏の温かい日差しのもとでスクスクと育っています。都市環境での生活は、「土」に触れる機会がほとんどありません。プランターや土を購入するなどして意識的に植物を育てようとしない限り、「農」を実践することは難しくなりました。本講座の実習は「畑」を用いる本格的な企画と言えるでしょう。力を込めて自分の手で畑を耕し、こまめに手入れをしていくなかで、植物の成長に対する楽しみもひとしおのようです。栽培している作物は馬鈴薯、キュウリ、ナス、エダマメ、ダイコン、ハクサイなどです。講座終了予定日の10月19日は「収穫祭」も予定されています。今秋には新鮮な野菜が採れることになりそうです。

○究極の珈琲を創ろう！知ろう！楽しもう！＠富山大学正門横喫茶AZAMI



珈琲講座風景

日常的な飲み物として親しまれている珈琲（コーヒー）。珈琲の木の実を煮たものを食べたり上澄みを飲んだりしていたとの記録は11世紀ごろまでさかのぼります。日本には明治になってはじめて輸入されました。長い歴史があるだけに、珈琲の材料や技術は極めて奥の深いものがあります。本講座第１回目では日本を代表する著名な珈琲研究家の標交紀（しめぎ・ゆきとし）先生をお招きし、珈琲の神髄に触れることになりました。第２・３回目は、自家焙煎のおいしい珈琲豆を追究する店「エコーレ」のご協力をいただき

焙煎や抽出の技術を学ぶとともに、珈琲豆産地諸国との関係の適正化(フェアトレード)など、食文化を世界的視野で学ぶことになりました。

珈琲と言えば「苦味」を想像する方が多いと思います。本当においしい珈琲には、意外にも「甘み」があるそうです。ぜひ、あなたも「究極の珈琲」を試してください。

「家庭菜園」「究極の珈琲」とも大人気で、申込開始日から極めてわずかの間に定員に達しました。紙幅の関係から今回はこの２つの講座のみご紹介いたしましたが、本年度は他の多くの公開講座も盛況です。公開講座は原則的に「先着順」で受け付けしますが、定員オーバーが続出しました。今回受講できなかった市民の皆様には大変申し訳なく思うとともに、優良な講座を企画していただいた先生方に心より感謝いたします。

2.オープン・クラス

富山大学オープン・クラス制度が発足してから３年半が経ちました。この間、多くの一般市民が大学の門をくぐり、正規学生とともに学んできました。これまで、どのくらいの一般市民が富山大学の授業を受講してきたのか――平成14年度後期から平成18年度前学期までの間の受講者(試聴の上で正式に受講を決定した方の延べ人数)は、1000名を突破しました！

毎学期ごとに受講者、授業を担当された先生方にアンケートを実施していますが、毎年度共通して出される意見は、「もっと多くの授業を開放していただき、次の高いステップに進みたい」「もっとＰＲを実施し、多くの市民に受講の機会を提供して欲しい」というものです。センター事務室前に設置されたオープン・スペースでは、数人の「市民受講生」たちの語らいの場となることがしばしば見られるようになりました。受講しての感想、意見交換など、大学教育を体験された方々の話はつきないようです。オープン・クラス実施以前はただの閑散とした空間でしかなく、このような光景を目にすることはありませんでした。お定まりの知識を摂取するというよりも、絶えず疑問を持つことで深く納得し、議論の中で知が豊かになるという「研究」機関の世界が創りだした「サロン」と言えるでしょう。

オープン・クラス受講生は教室の雰囲気を変える、とは担当された先生方の多くの感想です。今後ともできるだけ多くの授業を公開していただきますよう、お願いする次第です。

3.地域社会とのアカデミックな対話：心理学と地域連携２

去る２月９日(木)、人文学部３Ｆ第６講義室において、心理学と地域連携フォーラムPart２「心理学の現在と可能性」(人文学部心理学教室主催、生涯学習教育研究センター共催)が行われました。報告を担当された先生方、および講演タイトルは以下の通りです。

テーマ	講師
①知覚心理学の基礎と応用 “ものが見える”という問題について	井戸　啓介　氏 (富山県立大学工学部講師)
②社会心理学とその応用領域 社会心理学における社会	黒川　光流　氏 (富山大学人文学部助教授)
③終末期医療と臨床心理学 医学と心理学の間	岸本　寛史　氏 (富山大学保健管理センター助教授)

平日木曜日の13:30～15:30のスケジュールで行われたにも関わらず、昨年開催された初回のフォーラム同様、約８０人の参加者でにぎわいました。

「なぜ視覚的に目立つもの・目立たないものとに分かれるのか――知覚心理学の応用可能性について」「社会心理学の産業領域・教育領域への応用例」「医学的観点と臨床心理学的観点の統合の可能性について」など、心理学の各領域からの報告には興味深いものがあり、参加者からは熱心な質問がありました。

フォーラム参加者へのアンケート結果を見ると、７割以上が「とても参考になった」と回答し（「参考になった」を加えると９割以上）、自由記述でも「心理学の基礎と応用をどう結びつけるかを考えさせられる、良いテーマだった」「現場に即した話で参考になった」「大変中身が濃いものだった」など、好評価を感じさせるものが散見されました。要望として、「これからもフォーラムを開催して欲しい」「臨床心理士の資格が取れるようにしてほしい」など、心理学への関心の高さを思わせる記述も見られました。

詳しくは、フォーラムの報告書『心理学と地域連携２：定着と浸透』（平成18年３月、富山大学人文学部心理学教室）をご参照下さい。



フォーラム風景

4．高大連携

大学開放事業は、主に卒業後社会人となった人たちに向けて高度な学習機会を提供するという印象がありますが、高校生もその対象となります。高大連携事業は、「出前講義」等の形で活発に行われているところですが、本学で開催される正規学生向けの授業や公開講座への参加促進も進められています。



開校式

まず、五福キャンパスでは、富山県立小杉高等学校と連携し、「校外学修」と称して生徒のオープン・クラスへの受け入れを行っています。小杉高校との連携は既に３年目を迎え、定例化しつつあります。今期は、教養教育「こころの科学」（稲垣応顕先生）、「睡眠の科学」（池田真行先生）に計12名の生徒を迎え、現在熱心に受講しているところです。

また、高岡キャンパスでは、小杉高等学校生徒を対象とした「圧迫鋳造による銀の指輪つくり」、富山北部高等学校生徒を対象とした「デザイン」の各講座が特設され、計19名の生徒が学びます。高大連携によって、高等教育機関の魅力を存分に味わってほしいものです。

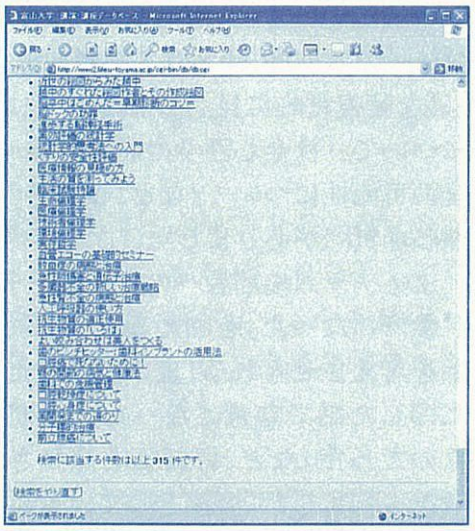
5．データベースの充実

本センターでは、本学スタッフの担当可能な講演会・講座テーマのデータベースを作成・公開しています。４月以来、メールや書面での登録依頼をお願いいたしましたところ、多くの先生方のご協力をいただくことができました。既に前年度までに登録されていたテーマが207件あり

ましたが、今回ご回答頂いたテーマを追加しましたところ、ついに300件を超えることになりました。誠にありがとうございました。

研究業績や履歴書など、似たような種類の調査が多い中、「また調査？」と思われた先生方も多くおられることでしょう。しかし本データベースは、主に市町村や各種団体からの講演依頼に活用されています。ご面倒をおかけしますが、なにとぞご協力をお願いいたします。情報の新規登録・変更などがありましたら、すみやかに対応いたしますので、どうぞご連絡下さい。E-mailでも、TEL・FAXでも構いません。ご不明の点などありましたら、気軽におたずね下さい。

E-mail：nakamine@ctg.u-toyama.ac.jp
FAX:076－445－6960　TEL:076－445－6959



データベース画像

なお、都合によりデータベースのURLが変更になりました。新しいURLは、
http://www2.life.u-toyama.ac.jp/cgi-bin/db/db.cgiです。（変更点は、www→www2）。

6．新しいスタッフのご紹介

４月27日の生涯学習教育研究センター運営委員会において、大石昂センター長が引き続き現職を務められることが決まりました。また、副センター長には、小松美英子先生（大学院理工学研究部教授、生物学専攻）を新たにお迎えすることになりました。これからもどうぞよろしくお願いします。また、４年の長きにわたり副センター長を務めていただいた神川康子先生には、お忙しいところ積極的にセンターの運営に関わっていただき、厚く御礼を申し上げます。

7．会議報告

●第７回富山大学大学開放推進懇話会

日　時：平成18年２月２日（木）14:00～15:30
場　所：富山大学事務局５Ｆ大会議室
◇平成17年度の大学開放事業報告・質疑等

●平成17年度第４回生涯学習教育研究センター公開講座専門委員会

日　時：平成18年２月９日（木）10:00～10:33
場　所：生涯学習教育研究センター会議室
◇平成18年度公開講座実施計画について

●平成17年度第２回生涯学習教育研究センター運営委員会（持ち回り）

◇次期生涯学習教育研究センター長選考日程について

●平成18年度第１回生涯学習教育研究センター運営委員会

日　時：平成18年４月27日（木）17:00～17:27
場　所：生涯学習教育研究センター会議室
◇次期センター長候補者の選考